



《12～1月の海況》

10月	月平均	平年差	評価
浜田	16.7℃	+0.7℃	やや高め
恵曇	16.6℃	-0.2℃	平年並み

沿岸定地水温は、浜田地区では、12月上旬は「平年並み」、中・下旬は「やや高め」となり、1月に入り中旬時点で「やや高め」で経過しています。恵曇地区では、12月上・中旬は「平年並み」、下旬は「やや高め」となり1月に入り中旬時点で「やや高め」で経過しています。



《12月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類、ブリ主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は27.9トンで平年並みとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は114トンで平年の約6割だったものの、マアジは141トンで平年並み、ブリは104トンで約70倍となりました。隠岐地区ではブリ、マイワシ類主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は62.5トンで平年並みとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ブリは3,239トンで平年の3倍、マイワシは1,023トンで平年の10倍となったものの、マアジ、サバ類は平年を下回りました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ、スルメイカ主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は123kgで平年を下回りました。一方、西郷地区(属人5トン以上)ではケンサキイカ、スルメイカ主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は33kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ソウハチ、ムシガレイを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は11.5トンで平年を下回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、キダイは平年並み、ソウハチは平年の1.2倍、ムシガレイは平年の8割の水揚げでした。その他、アカムツは平年の2.9倍、ヤリイカは平年の1.9倍、ヒラメは平年の1.4倍の水揚げだった一方、アナゴ・ハモ類は平年の9割、アンコウは平年の7割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、ヤリイカ、アンコウ、ニギスが主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は638kgで平年の9割の水揚げとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ソウハチは平年の4割と不漁で、ヤリイカは平年の1.7倍、アンコウは平年の1.1倍、ニギスは平年の1.2倍でした。その他、キダイは平年の1.5倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍、アカムツは平年の8割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、サバ類、マアジ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は17.4トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、サワラ類は平年の1.5倍、サバ類は平年の5.9倍、マアジは平年の1.1倍の漁獲量でした。石見地区ではサバ類、サワラ類主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は15.6トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は全体の漁獲量の4割を占め、平年の10倍、サワラ類は平年の3.1倍の漁獲量でした。隠岐地区ではブリ、マアジ、ソウダガツオ、サバ類主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は3.1トンで平年を下回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ブリは平年の2.5倍の漁獲量でしたが、マアジ、ソウダガツオ、サバ類は平年の2～4割の漁獲量でした。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類、ブリが主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は44kgで平年を上回りました。石見地区ではサワラ類、クロマグロが主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は23kgで平年を下回りました。隠岐地区ではブリ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は36kgで平年を上回りました。

【平成 28 年 12 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類、ブリ	391 トン	45%	105%	27.9 トン	65%	121%	○
	隠岐	ブリ、マイワシ	5,251 トン	130%	89%	62.5 トン	144%	85%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	18 トン	43%	84%	123kg	12%	45%	○
	西郷	ケンサキイカ、スルメイカ	0.3 トン	12%	5%	33kg	39%	38%	▲
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ソウハチ、ムシガレイ	356 トン	86%	97%	11.5 トン	78%	82%	▲
小型底びき 網	大田	ソウハチ、ヤリイカ、アンコウ、ニギス	262 トン	65%	77%	638kg	91%	85%	▲
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、サバ類、マアジ	209 トン	109%	103%	17.4 トン	100%	91%	○
	石見	サバ類、サワラ類	63 トン	152%	224%	15.6 トン	152%	224%	◎
	隠岐	ブリ、マアジ、ソウダガツオ、サバ類	9 トン	23%	17%	3.1 トン	15%	16%	▲
釣り・縄	出雲	サワラ類、ブリ	57 トン	93%	97%	44kg	119%	122%	◎
	石見	サワラ類、クロマグロ	34 トン	92%	85%	23kg	120%	81%	▲
	隠岐	ブリ、メダイ	24 トン	108%	128%	36kg	118%	117%	◎

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下
 大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。